

学校教育目標

「心豊かな子 進んで学ぶ子 健康な子」

研究主題

自他のよさを認め、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成
～協働的な学びを通して、児童が「わかる」「できる」を実感する指導の研究～



目指す児童像

- 学ぶ意欲をもち、進んで学習に取り組む子
- 互いに認め合って活動する子
- 自分のめあてをもち、努力する子

研究の視点と手立て

視点1

児童が「認め合う」工夫

教師が意図的に、授業内で児童同士が「認め合う」場や時間を設けることで、児童はよりよい人間関係をつくることができるだろう。

視点2

児童が「わかる」「できる」を実感する工夫

児童が「わかる」「できる」を実感する場面を設けることで、児童の自尊心は高まっていくだろう。

視点3

「認め合う」環境づくり

学校全体で児童が「認め合う」掲示物や場面を設けることで、よりよい人間関係をつくることができるだろう。

意図的なグルーピングによる活動



ICT を使用してお互いの動きを見合う



人権かるたの作成

